

ささやま

11

第102号

平成26年 10月21日発行

contents p2 地域包括ケアシステムとは
福祉教育推進事業
～西紀南小学校児童、車いす体験～
p3 第16次東海市市民ボランティア
歳末里親募集のお知らせ
障害者スポーツフェスティバルのお知らせ
p4 情報ボックス

～赤い羽根共同募金～ 地域を良くする みんなのきもち

共同募金寄付金の税制上の優遇措置

社会福祉法人兵庫県共同募金会は、兵庫県より税制控除対象法人の証明を受けています。

■個人の寄付金は

1) **所得税**については、①税制控除方式と②所得控除方式のいずれかを選択できます。

①税制控除方式

{(寄付金額)－2,000円}×40%＝納付すべき所得税から控除される額 ※税額控除額は、その年分の所得税額の25%が限度額です。

②所得控除方式

{(寄付金額)または(年間所得×40%)のどちらか低い方}－2,000円＝課税対象所得から控除される額

2) **住民税**については、寄付金税額控除が受けられます。対象となるのは、寄付者の住所地の県共同募金会へ寄付された寄付金のみです。

{(寄付金額)または(年間所得×30%)のどちらか低い方}－2,000円×10%＝納付すべき住民税から控除される額

■法人の寄付金は

寄付金の損金算入されます。

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。募金には、各世帯に募金をお願いする「戸別募金」、事業所、寺院にお願いする「法人募金」、児童、生徒にお願いする「学校募金」など、様々な形で協力いただいております。学校募金は市内各学校を通じて、児童、生徒に自発的な募金呼びかけのことで、地域福祉活動にご協力いたします。

運動期間は、12月31日までとなっておりますので、これからも赤い羽根共同募金にご協力をよろしくお願い致します。

立城北畑小学校では、児童会役員が募金箱を持ち、登校した児童に募金を呼びかけ、募金活動が実施されました。これらの、一人ひとりの善意は、篠山市の福祉活動に使われ、福祉教育支援事業にも充当されます。

地域包括支援センター

地域包括ケアシステムとは

今、新聞やメディアで話題になっている「地域包括ケアを構築する」とは、どういうことなのか」ということを考えてみたいと思います。

現在、要介護状態等の人が、住み慣れた地域で生活していくためには、介護サービスを利用するだけでは、難しいこともあります。

それは、介護サービスというのは、その人を支える一つの資源ではありますが、24時間365日を支援できるものではありません。当然、介護サービスを利用している時間よりも、利用していない時間の方が多いのです。

そうすると、福祉の専門職だけで支援方法を考えるのではなく、民生委員や自治会長、時には近隣住民の方にも話し合いの場（個別地域ケア会議）に入ってもらい、その人

の生活をどう支えていくのが良いか、ということと一緒に考えていくことが必要です。

また、近隣住民、地域の福祉関係者、専門職等が話し合うことにより、その人の生活を支える方法が見つかったり、住民の福祉への関心が高まることも期待できます。住民の福祉への関心が高まってくると、「お隣さん、気になるなあ。一回声かけに行ってみるわ」「あっ！新聞が溜まって」「本人に会っても私の顔を思い出せない様子だったし、一回家族に聞いてみるわ」ということが増え、住民の困りごとに対して、相互に助け合える関係が築けます。



相談いただき、その内容によって、本人宅を訪問、適切なサービスや関係機関につなぎます。

そして、今後は個別地域ケア会議を積極的に開催し、①支援が必要な人を孤立させない ②異変、困りごとに気づく ③気づいたら誰かに気づく 相談する、という解決に向けての、プラスの循環の仕組みを作りたいと考えています。

地域でのお困りごと、お気づきの点がありましたら、地域包括支援センターへ、お気軽にご相談ください。

福祉教育推進事業

西紀南小学校児童が車いす体験

9月26日（金）、西紀南小学校の4年生19名が、車いす体験をしました。

初めに児童が体験したのは、制限時間10秒以内に車いすをコンパクトにたたむことでした。事前説明もなく体験したので、うまくたためませんでした。が、社協職員がたたみ方を説明した後に再度体験すると、10秒もかからずにはたたむことができました。この体験では、知っていれば車いす操作は難しくないということを経験しました。

前半は車いす本体の説明や使い方の解説と実演を聴きました。車いす本体の説明では、各部分の名称や必要性の説明を受け、特に、普段車いすで生活しない子どもたちには不必要に感じられていた人にとって、大切なものであることを理解しました。

車いすに人を乗せて移動する際は、乗っている方の気持ちを考え、安心で安全な介助を心がけること、スロープや段差を降りるとき



段差をゆっくり下りる児童

は、安全のために後ろ向きに下ることなどを学びました。

説明を終えると、実際に校内を車いすで移動しました。普段歩いている廊下を車いすで通ってみると、ちよつとした段差も、人によつては障害となることに気づきました。本棚では、低いところや高いところに手が届かないことや、地面に物を落としてしまうと拾いにくいことを、経験しました。

今回の体験を通して、車いすの方だけでなく、困っている方を見かけたときには、「お手伝いしましょうか」と一声かけられる、そんな思いやりの心が育っていけばうれしく思います。

第16次

東日本大震災支援活動 市民ボランティア報告

9月19日～22日、第16次東日本大震災支援活動市民ボランティア（市民14名、職員3名）活動を、宮城県南三陸町において実施しました。

活動初日は、土曜日ということもあり、118名のボランティアが災害ボランティアセンターに集まり、私たちは農地の復旧作業を行いました。その作業は、農地に新たに入れられた土を、つるはしやスコップで掘り起こし、ピッケルで大きな



協力しあっての石の撤去

石や草を取り除くという内容のものでした。

2日目の午前は、南三陸町の波伝谷地区仮設住宅や復興住宅の窓拭きや網戸の洗浄、周辺の草引きを行いました。昼食は、仮設住宅の方が営業されている食堂で、地元で採れた食材のご馳走に舌鼓を打ちました。午後は、語り部ガイドの後藤一磨さんと合流し、高台にはあるが、津波の被害を受けた戸倉中学で、震災当時のお話を伺い、今回の津波の規模の大きさに、参加者一同言葉を失い、復興に向けて一歩一歩進んでいる風景を目の当たりにしました。

帰りの車中では、ボランティアリーダーの、①「決して忘れないでほしい」②「人に伝えてほしい」③「必ずまた来てほしい」というメッセージを各々の胸に刻み、帰路につきました。

第10回

障害者スポーツフェスティバル開催のお知らせ

市内の障がい者が、スポーツ競技やスポーツレクリエーションを通じて、お互いの交流と親睦を深めます。幼稚園児の参加もあり、楽しいフェスティバルが繰りひろげられます。

ぜひ、ご来場いただき、応援をお願いします。



平成25年度スポーツフェスティバルの様子

とき 10月30日(木)
午前10時～午後2時30分
ところ 篠山総合スポーツセンター 体育館

内容 ●**競技**
パン食い競争、ダンス、大玉ころがしなど
●**体験コーナー**
よさこいソーラン、卓球バレー、カーリング、フライングディスク
●**ショータイム**
マジック

〈問い合わせ先〉地域福祉課 担当:小村美晴 ☎590-1112

年末年始の

短期里親さん

募集

本年度も、12月28日から1月4日まで、加古川市にある児童養護施設「立正学園」の子どもたちを篠山に迎え、年末年始を市内の里親家庭のもとで過ごす「第53回短期里親事業」を実施します。

年末年始に子どもたちとのふれあいを通じて、家庭のぬくもりを伝えていただける里親さんを募集しますので、ご協力をよろしくお願いします。



●受け入れの流れ

日 時	内 容
～11月21日(金)まで	里親さんを募集（10名程度） 篠山市社会福祉協議会窓口にて、申込み用紙の記入をお願いしています。
12月中旬	里親連絡会（市役所で開催） 児童養護施設「立正学園」の方から、受け入れる子どもたちの状況を聞くことができます。 里親さんの顔合わせも兼ねていますので、先輩里親さんに質問もできます。
12月28日(日)	里子 出迎え式 里子をお迎えします。
↓	子どもたちは里親家庭内で過ごします。
1月4日(日)	里子 帰園式 里子が養護施設へ帰るのを見送ります。

〈問い合わせ先〉地域福祉課 担当:金古映里 ☎590-1112

善意銀行だより

9月1日～30日預託分

(敬称略)

－ 金銭預託 －

松本美千代(井ノ上) 善意の預託・・・ 3,000円
藤本千皓(小中) 善意の預託・・・ 20,000円
丹波ささやま農業協同組合 西紀大山支店
善意の預託・・・ 17,700円

－ 物品預託 －

芦田富基子(今田町芦原新田) 鉢植えの花 5鉢
・・・今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代(垣屋) 折り紙細工 ...給食サービス
西澤昭美(栗柄) 折り紙細工 ...給食サービス
小谷重二(知足) ししとう0.5kg ...給食サービス
林真澄(福井) 洗剤等 ...特別養護老人ホーム
数元とみ子(草野) ピーマン6.5kg ...給食サービス
澤野啓子(曾地中) ぶどう5kg ...給食サービス
朝治信彦(西荘) 新米30kg ...給食サービス
S. S (当野) かぼちゃ32玉 ...給食サービス

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

と き	と ころ
11/ 5(水) 13:30～16:00	今田まちづくりセンター
11/ 7(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
11/14(金) 9:00～11:30	篠山市民センター
11/21(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
11/28(金) 9:00～11:30	篠山市民センター

ノーベル物理学賞を、赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏に授与すると発表された▼物理学賞は、新聞に研究や成果が掲載されるも、なかなか理解が難しいが、今回の青色LEDの開発は、家庭の照明や車のライトなど、私たちの生活にも実用化されており、少し身近に感じます▼「研究は大変だったが、好きなことなので当たり前に」赤崎さん。「趣味は研究。休日にも研究」天野さん。「悔しさをバネに、苦勞するがゆえに考えるようになった」と中村さん▼続けること。考えること。諦めないこと。

あとがき



篠山市ファミリーサポートセンター

第3回フォローアップ講習会 ～苦手ななくそう～

子どもが喜ぶ野菜料理

と き: 11月14日(金)午前10時～午後1時
ところ: 篠山市民センター 研修室3(調理室)
講 師: 崎田 薫さん(製菓衛生士、キレイになるお菓子教室主宰)
材料費: 700円(大人1人分)
持ち物: お米1合、エプロン、三角巾
託 児: あり(10名まで要予約)
定 員: 15組
申込締切: 11月7日(金)
※3歳以上の子どものさんは、一緒に参加できます。
※できあがりは、大人1人分になりますので、子どもさんの分が必要な場合は、申込時にご相談ください。



子ども一時預かり “かんがるー”

城東地区でも
開催します

と き: 11月5日(水)、27日(木)
12月16日(火)
※午前10時～12時(受付9時45分～)
ところ: 四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)
※11月5日(水)は、城東公民館 和室(1F)
定 員: 10名(生後6か月～就学前のお子さん)
利用料: 子ども1人につき 1回500円
申込締切: 各実施日の1週間前までにお申し込みください
☆利用には申し込みが必要です
☆会員以外の方も利用できます
☆定員になり次第、締め切らせていただきます



～詳しくはファミサポまで～

申込み・問い合わせ先
篠山市ファミリーサポートセンター
担当 林 直美 ☎590-1388



第3回 ボランティアフェスティバル ～ひろがれ、ボランティアの輪～

と き: 11月9日(日)午後1時30分(受付:午後1時)
ところ: 丹南健康福祉センター 研修室(2階)
内 容: 1. 活動発表

(1)海外支援ボランティア活動
バングラデシュの村を良くする会
代表 岩下 八司氏

(2)災害支援ボランティア活動
①篠山産業高校
②篠山産業高校 丹南校
③日本防災士会兵庫県支部
理事 田中 忠司氏



2. アトラクション
3. パネル展示

対象者: ボランティア活動等に関心のある方
主 催: 篠山市ボランティア連絡協議会

〈問い合わせ先〉総務課 担当 松本ますみ ☎590-1112